

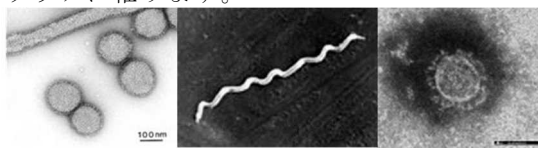
コロナだけじゃないよ。「感染症」ってなに？ ～感染症情報センターの役割について～

はじめに

2019年12月に、中国武漢市から発生した「新型コロナウイルス感染症」(COVID-19)は、2020年2月に県内で初発患者を確認して以降、2020年県内での患者報告は、5,413例(暫定値)となっています。日々、テレビで報道され、私たちの生活様式や、経済活動まで変えてしまった「感染症」とは、どんな病気なのでしょう？

感染症とは

感染症とは、病原性(病気を起こす力)を持った微生物(細菌、ウイルス、原虫など)が、人の体内に侵入することで、引き起こす病気です。例えば、インフルエンザウイルスを吸い込むことで、高熱で動けなくなったり、サルモネラ菌が付いている生肉を食べた後、腹痛や下痢を起こしたり、またマラリア原虫を持った蚊に刺されることで、マラリアにかかります。



インフルエンザウイルス・梅毒トレポネーマ・新型コロナウイルス
図1. 様々な病原体 (国立感染症研究所より)

感染症となるかどうかは、病原体の感染力と体の抵抗力とのバランスで決まります。ただし、病原体が体内に侵入しても、症状が現れる場合(顕性感染)と現れない場合(不顕性感染)があります。今、流行しているCOVID-19も無症状の方も大勢いますが、逆に抵抗力が弱い、高齢者や基礎疾患がある方は重症化することもあります。

感染症は予防できる病気です

では、感染症に罹らないためには、どうすればよいのでしょうか。人に関係する感染症は、たくさんあり、その感染経路も様々です。咳やくしゃみによる「飛沫感染」、病原体が付着した食品を食べることによる「経口感染」、性交や皮膚の接触による「接触感染」、蚊やダニに刺されたり、動物に噛まれたりすることによる「媒介感染」等です。

感染症に罹らないためには、感染経路を遮断すればよいのですが、その方法は感染経路の種類によっても、異なります。もっとも基本的な予防策

は、「手洗い」と「咳エチケット」、そして「ワクチン接種」です。しかしあらゆる感染症対策を常に気にかけていることは、大変です。そこで重要なのは、その地域の感染症の発生動向を確認し、注意すべき感染症について、臨床的・疫学的特徴を知ること、年代等のリスクの高い対象者に対し、予防策を講じることが有効となります。

感染症情報センターでは

沖縄県衛生環境研究所では、感染症情報の収集、解析及び提供の為、感染症情報センターを設置し、沖縄県内で発生した届出対象の感染症(従来の115疾患に2020年1月よりCOVID-19が指定感染症に追加され計116疾患)の発生について、感染症サーベイランスシステムNESID等を稼働し、県内の感染症流行状況の把握し、その情報をホームページ上で提供しています。必要に応じて、県から注意喚起を行い、予防方法を周知しています。

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/ansanjouhou/home.html>

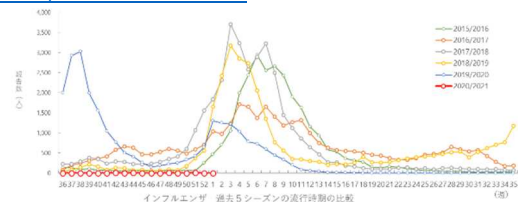


図2. 情報例①インフルエンザ流行状況



図3. 情報例② COVID-19 流行状況

最後に。感染症と人権

感染症の歴史の中には、ハンセン病の隔離政策のように、差別や偏見をうけてしまう人権侵害が度々起こります。そして、今回のCOVID-19でも同じような事が起こっています。感染症は、誰でも罹る可能性があります。感染者への配慮が図られるよう、正しい知識と正確な情報を持って、対応することが大切です。 【企画管理班】